

2024年11月総評 暮田真名

もう生まれ変われないほど
擦り切れたたましいを見せて
驚かせたい
小川いなせ

擦り切れていなければ生まれ変わる。ひどく擦り切れていたら生まれ変わらない。ほんらい物質を伴わない「たましい」を、古着のように捉えたところがユニーク。「哀れんでほしい」でも「悲しんでほしい」でもなく「驚かせたい」というところにも矜持を感じる。

君の頬のばしてみればよくのびる
そのままちぎる 婚姻届
桃井肌子

「頬をつまんでのばす」というほほえましいスキンシップが、「婚姻届をちぎる」という不穏なシーンにいつの間にかすり替わるギャップが鮮やか。「婚姻届をちぎる」とは、破局か、制度によって二人の関係を固定することへの抵抗か。

崖へ向かう道の途中であなたから
こぼれる螺鈿をなんども拾う
あお

ファンタジックな世界観。「あなた」は壊れかけており、歩くだけでパーツがぼろぼろと剥がれ落ちるような状態である。それでも険しい場所に向かう「あなた」の後ろを歩き、骨を拾うように、鱗のような「螺鈿」を拾い集める。二人のさびしい距離感に好感を持った。

洗面所は涙をすてる場所だよ
チュートリアルでおしえてもらう
高遠みかみ

RPGゲームだろうか。「涙」がアイテムスロットの一つを埋めるものとして捉えられているところもおもしろいし、涙が水であるという理由で、洗面所と泣くという行為が結びつけられているところもおもしろい。こんなちぐはぐなゲームならやってみたい。

アイダホは愛の拿捕かも息白く

飯本真矢

「風呂のために離脱」することを「フロリダ」と略す”若者用語”がある（Twitterでは10年以上前から観測されていたような気がするから、すでに死語かもしれない）。「フロリダ」とは逆で、「愛の拿捕」という言い回しは「アイダホ」から事後的に生み出されたものである。「鞆は漕ぐべし愛は奪うべし」（三橋鷹女）に通ずるものがあって、良い。

着ぶくれて心臓すこし遠くにある

八尾保醒

相手の本質に近づきたいあまりに「心臓」をイメージすること、セーターやコートのわずかな厚みを「すこし遠く」と表現すること。どちらの修辞にも鬼気迫るかんじがある。

【流れ星 無断転載】

ごめんなさい。

若宮渋滞中

隅付き括弧は、YouTubeなどの動画タイトルによくある表記。流れ星の動画の無断転載というだけでも興味を惹かれるが、「ごめんなさい。」という発話は誰のものなのだろう。転載をした人。動画を見た人。あるいは。想像が膨らむ作品。

賢治忌の星の明るさ電子辞書

深谷健

恒星の明るさという〈はるか遠くの大きな光〉と、電子辞書の画面という〈手元にある小さな光〉が響き合う。言葉を使って宇宙に自在な想像力をはたらかせた宮沢賢治の忌日の詠み方が巧み。

戦争がきもちわるくて歯を磨く

沼谷香澄

「戦争を〈遠く〉の出来事であると感じるとき、どれだけ自分に近づけて感じられるか」というのが、戦争詠の評価軸の一つとしてあると思う。この句では口の中にまで持ってきてみせた。「歯を磨く」という対処法で生み出される「きもちわるくて」の生理的な不快感から、ただ単語を弄ぶだけでは終わっていないと読んだ。

くろわっさん

わしゅわしゅ齧りきみ

と見た星のすべてをおもいだす朝

さいう

現実的に考えれば「きみ」と星空を見た次の朝、ということにでもなるのだろうが、この歌には「きみ」と宇宙旅行をして帰ってきたかのような新鮮さがある。「わしゅわしゅ」というオノマトペが効いているのだろうか。